

きらきら体操 ②

the 0123

アートチャイルドケア
きらきら体操 2012年2月

- ◎ **知育** からだを動かすことで
大脳の動きが活発になる
- ◎ **体育** 運動能力が育つ
- ◎ **愛情** 触れ合うことで心の安定を図る
- ◎ **礼節** 礼儀作法が身に付く

年齢別目標

1歳児:自分の体を自分でコントロールする
(いも虫ゴロゴロ)

2~3歳児:前回り・風せんドッチボール

4~6歳児:開脚跳び・ドッチボール



1歳児

ねらい:空間認知能力・操作系運動スキルの発達・協応性の向上

「風せんポン」～風せんを上に向けてみよう～

風せんを持ち、上に投げて遊ぶところからはじめましょう。次に先生が風せんを上についている様子を見せながら「ぽーん、ぽーん、出来るかな?」と声掛けし、1～2回から、続けて数回つけるように働きかけてあげましょう。

★ポイント★

風せんを怖がる子もいます。みんなが楽しんでいる様子を見せながら、無理せず少しずつ遊びの中へ誘いましょう。



「風せんを上に向けて」

2,3歳児

ねらい:操作系スキルの向上・協応性、腕力、空間認知能力の育成

「どこまでとぶかな」～ボールを上手投げしてみよう～

★投げ方のコツ★

まずは「紙ヒコーキ飛ばし」からはじめてください。紙ヒコーキ飛ばし(①)と、ボールの上手投げ(②)の動きは同じです。紙ヒコーキを飛ばせれるようになったら、上手投げも出来るようになってきます。

★楽しさUP★

「どこまで投げれるかな」とビニールテープなどで目標の位置を決めたり、誰が一番遠くへ投げることが出来るのか競争したりするのも楽しいですね。

★安全チェック★

投げる向きに友だちがいないか確認してから投げる、また①②のように並んで投げる場合は、友だちとぶつからないように間隔をあけて行ってください。



「紙ヒコーキ飛ばし」



「上手投げ」

4~6歳児

ねらい:空間認知能力・集中力・協応性の育成・操作系スキルの向上

「ボールを投げる」～的あてやキャッチボールを楽しもう～

2～3歳児と同じく、まずは遠くへボールを上手投げするところからはじめ、慣れてきたら、的あてやフープくぐりにも挑戦してみましょう。

★的あてのポイント★

的の近くから投げることから始めましょう。慣れてきたら、難易度を上げ、少しずつ遠くから投げられるように働きかけてください。的あては「集中力をつける」ことにもつながります。

★ステップUP★

的あてがうまく出来るようになったら、次は「友だち同士でキャッチボール」に挑戦してみましょう。これができるようになれば、ドッチボールにもつながり、あそびの幅が広がってきます。



「的あて」



「友だちとキャッチボール」

the 0123

アートチャイルドケア

本社:大阪府大東市泉町 2-14-11
東京本社:東京都品川区東品川 1-3-10-3F

the 0123 ART GROUP

※掲載の情報は2012年2月現在のものです。©February 2012 Art Group